

『那古地区学校のあり方を考える会』における「保護者委員」の意見結果 及び地区保護者等との意見交換状況について

（「那古地区学校のあり方を考える会」について）

- 委員 11名（小学校保護者3名・未就学児保護者5名・地区代表3名）
- 検討過程 令和4年10月～令和5年5月

（協議内容）

- 保護者として考える望ましい学校規模について
- ✓ 複式学級の学校規模でも良いので、地域に学校を残して欲しい。
 - ✓ 1学年単学級での教育環境を望む。
 [市が示す最低限の学校規模（1学年15人，小学校全体90人）以上]
 - ✓ クラス替えが可能となる学校規模での教育環境を望む。

（協議経過）

日 付	内 容
令和4年7月6日	保護者・地区説明会（基本指針説明、地区協議方法に関する意見交換）
令和4年10月31日	「学校のあり方を考える会」第1回会議 （組織規約の決定、意見集約化の手法検討）
令和4年12月12日	「学校のあり方を考える会」第2回会議 （学校規模に関するメリット・デメリット／論点整理など）
各保護者委員が“保護者として考える望ましい学校規模について”検討する期間	
令和5年1月30日	「学校のあり方を考える会」第3回会議 （保護者委員／意見交換～意見集約化）
令和5年2月14日	保護者説明会（案内通知発送／（現）小学校・未就学児保護者）
令和5年3月20日	保護者説明会（～令和5年4月10日まで意見聴取期間）
令和5年5月22日	「学校のあり方を考える会」第4回会議 （意見聴取結果を含め、保護者委員の意見決定）
令和5年5月26日	保護者通知（保護者委員の決定意見を小学校・未就学児保護者に周知）
令和5年6月22日	那古地区（区長会）にて保護者意見の説明
令和5年7月10日	那古地区（地区住民への回覧／保護者委員の決定意見）

(協議結果／保護者委員意見)

結 論

小学校・中学校共に、クラス替えが可能となる学校規模での学校再編を望む

※ 中学校の学校再編は、より早い時期での再編を希望する。

理 由

- より多くの友人と様々な経験をさせてあげたい。
(人間関係の固定化回避)
(新たな人間関係を構築する機会を、小さなうちから経験させたい。)

各委員の意見 (クラス替え可能な学校規模を望む意見)

【小学校のあり方に関する事項】

- 多くの友人と色々な経験をさせてあげたい。【多数意見】
- クラス替えなどを通じて、子供自身が新たな人間関係を構築する機会を小さなうちから経験させたい。【多数意見】
- 国が示す学年2～3クラスがベターだと思う。あまりに規模が大きすぎると、子供の友人関係が把握できなくなること、学区範囲が広すぎると、活動場所がわからなくなる。【多数意見】
- 幼稚園～小学校時代は、自身の人間形成過程において重要な時期だと思う。その時期に、より多くの人間と様々な経験をさせてあげたい。親として、幼稚園から小学校までの8年間、友人関係が全く変わらない環境を避けたい。
- 周囲の保護者同士(ママ友)とも、この件について意見交換したが、約9割の保護者は、クラス替え可能な規模を望んでいた。
- 小学校6年間、単一学級で過ごした自分の子供を見ていて、クラス替えが無いと分かっているため、人間関係が大変そうだと感じた。
(一度友人との輪に入り損ねると大変)
- 自分の子供(2人)は、一人はクラス替えが出来ており、もう一人は6年間単一学級だったが、クラス替えが出来ていた学年の子供の方が、学校生活が単純に楽しそうだった。
- 教育(授業)を考えても、クラスの人数が多くても少なくても、教える内容(教育課程)は一緒であり、小規模校での「きめ細やかな指導」というメリットより、「多くの友人と様々な人間関係を経験出来る環境」のほうが、子供にとって良いと思う。
- 学校規模が大きくても、教員数が増えるため「きめ細やかな指導」をとる学校運営体制づくりは可能である。(委員の元教諭より)
- 現在子供を幼稚園に通わせているが、子供の数が少なく非常に仲が良く、仲が良すぎて(良い事ですが)衝突した経験が一度もない。小学校～中学校～社会に出て色々なことが起きると思うが、小さなうちからトラブルを含め、より多くのことを経験して、自分でそれらを解決できる「力」・「方法」を子供自身に身につけさせたい。それが、子供のためになると思う。
- 友人同士での重大な事案があったとき、クラス替えという逃げ場を用意してあげたい。
- 私自身が、小学校単一学級で6年間過ごし卒業した。その経験において、一度出来上がった人間関係(クラス全体)が変わることは無く、今思えばクラス替えがあれば…色々違った変化があったのかなと思う。また、現に男女比も約2倍の偏りが発生していた。

- 学校規模が大きくなれば、1つの学級に関わる先生が多くなり（習熟度別授業・教科担任制など）、子供が様々な大人と接する環境を提供できる。また、担任以外も学級の様子を確認できるため、担任の先生ではない視点で子供の様子を日々確認可能となる。
- 新学年のワクワク（担任発表・クラス発表）が、子供にとって心機一転の良い機会となる。
- 学校の小規模化によって出来ない事案が発生するのは、そもそも良い事ではない。（体育での球技、グループ別学習など）
- 卒業までに同級生の顔・名前が一致できる規模（学年3クラスぐらい）が良い。
- 6年間あるので2クラスではなく、最低3クラスぐらいあった方が、色々な友人も出来るので良いと思う。
- 子供の可能性を広げるためには、クラス数が多ければ多い方が良い。

【中学校のあり方に関する事項】

- 理由は小学校と同じ。より多くの友人と様々な経験を積ませること、学習面（先生方の配置）、部活動、いずれの面からも早い段階での学校再編を望む。【多数意見】

各委員の意見（小学校は現状のままで良い意見）

- 単学級でも、子供は楽しそうに学校生活を送っておりデメリットを感じない。那古の地域として那古学区だけで学校運営をして欲しい。